

整理番号	15-12	事務事業名	防犯活動団体補助事業		作成部署	市民環境部 市民生活課		電話	内線716
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	滝本 明	課長職名	武田 隆	作成日	平成17年6月	
事務事業開始年度	S50	根拠法令等	北広島市補助金等交付規則						
〃 終了予定年度									
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	防犯思想の普及・啓発活動の主体となっている北広島市防犯協会連合会の組織を支援し、活動を活性化して行くため補助金を交付する。								

## 1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	安全で安心できるまち	(第 1 章)
	節	防犯と交通安全	(第 8 節)
	施策	防犯体制の充実	(第 1 施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	市民及び各地区防犯協会会員	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	地域の人々がともに助け合い、協力し地域の安全を守るという自主的防犯意識を育てる。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	地域安全のための巡回パトロール、防犯思想の普及・啓蒙活動のため研修会の開催や街頭啓発活動を暴力追放運動推進協議会、自治会等と連携し実施するとともに、警察との連携強化に努める。
		17年度	同上

## 2 実施(ドウ)

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財				
	一般財源	498	488	488	488
	合計	498	488	488	488
人件費(概算)	人数(年間)	0.05	0.05	0.05	0.05
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	450	450	450	450
総事業費 +		948	938	938	938

## 【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	地域安全運動	2回	2回	2回	2回
	研修会	1回	1回	1回	1回
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	地域安全運動	啓発物品 1,000個	啓発物品 700個	啓発物品 700個	啓発物品 700個
	研修会	参加人数 40名	参加人数 40名	参加人数 40名	参加人数 40名
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)					

### 3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	安全で安心して暮らせるまちは、市民と行政が日々協力しあい、継続して活動することで達成されるものであるため、今後もお互いに連携をとりあい活動していくことが必要である。
---------------------------------	--

#### 【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	警察・自治会等との関連性が多く、業務の効率を高めるため、防犯協会との連携は妥当と考える。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	会員の高齢化が進んでおり、会の運営に支障きたす可能性がある。	各地区防犯協会等で若年層の会員の養成が必要である。
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	緊急時の対応のネットワークが確立されていない。	緊急時対応の地区防犯協会・自治会・警察等とのネットワーク作りを現在、教育委員会と一緒に進めている。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない		

#### 【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	街頭啓発・研修会を実施することにより、市民の自主的防犯意識を育てる。	啓発活動等で市民へ周知しているが、その他、広報誌・ホームページ・町内会回覧などを利用し周知する方法を検討している。
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	市・警察等との連携をとり、効率的に実施できている。	

#### 【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A      B      C

### 4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	防犯活動の核となっている団体であり、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めていくうえでより大きな効果が期待できるため、現状維持と考える。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	補助団体への事務局移管、運営費補助から事業費補助への切り替えを進めること。

## 付 表

## 補助金・交付金 交付先団体等の状況説明書

整理番号	15-12
------	-------

## 【交付先団体等の概要】

補助金・交付金名	防犯活動団体補助事業		
交付先の名称及び代表者名	北広島市防犯協会連合会	設立年	昭和50年
構成員(団体)数	10団体 (17年3月末現在)		
交付先団体等の活動目的	各地区の防犯協会の自主的な防犯思想の高揚と地域防犯活動を推進していくとともに、お年寄りや女性・子供の安全確保のために始められたサポートハウス、SOSステッカー等の普及活動を推進していくことを目的としている。		
交付先団体等の活動内容	(1) 自家用車用マグネット表板、腕章の斡旋 (2) 「架空請求」防止チラシの配布及び新聞掲載 (3) 空き巣、窃盗、わいせつ等に対する各地区巡回依頼 (4) 夏と歳末の防犯活動(各地区の防犯協会で実施) (5) 秋と冬の地域安全運動月間街頭キャンペーン		
事務局の状況(16年度)	補助団体にある	市役所にある	
補助金等の充当状況(16年度)	運営費のみに充当	事業費のみに充当	運営費・事業費の双方に充当

## 【交付先団体等の決算・予算の状況】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)
収 入	本市補助・交付金の額(A)	498	488	488
	繰越金	29	11	1
	<b>収入合計(B)</b>	<b>527</b>	<b>499</b>	<b>489</b>
支 出	需用費	57	41	31
	報償費	16	18	10
	負担金	137	141	145
	活動費	296	292	292
	役務費	10	6	10
	予備費	0	0	1
<b>支出合計(C)</b>	<b>516</b>	<b>498</b>	<b>489</b>	
繰越金	<b>収入(B) - 支出(C)</b>	11	1	0
全体支出に対する本市補助・交付金の割合(A)÷(C)		97 %	98 %	100 %
補助・交付金の対象経費(項目)		すべての経費	すべての経費	
補助・交付金の対象経費(金額)(D)		516	498	
対象経費に対する補助・交付金の割合(A)÷(D)		97 %	98 %	#DIV/0! %
補助・交付金の算出根拠	定額補助			